



2016年3月28日

報道関係者各位

慶應義塾大学

「Tsunashima サスティナブル・スマートタウン」に 国際学生寮を新設

慶應義塾大学は、Tsunashima SST 協議会（代表幹事：パナソニック株式会社（以下、パナソニック）、野村不動産株式会社（以下、野村不動産））に参画し、「Tsunashima サスティナブル・スマートタウン（所在地：神奈川県横浜市港北区綱島東、以下 Tsunashima SST）」内における新たな国際学生寮開設に向けて、協議を開始いたしました。

留学生と日本人学生が共に暮らす混住型学生寮として、2018年のTsunashima SSTのまちびらきにあわせ、2018年3月の開設を目指します。

慶應義塾大学は2014年、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業に、世界レベルの教育研究を行うトップ大学（タイプA）として採択され、留学生の受け入れと学生の国際交流活動の推進のため、今後も、国際学生寮を計画的に整備、拡充していく予定です。

Tsunashima SSTは、パナソニックの事業所跡地に、異業種協業で開発される、技術開発施設、商業施設、水素活用拠点などの非居住空間と、集合住宅や国際学生寮などの居住空間を合わせ持つ次世代都市型スマートシティです。

慶應義塾大学は、このまちづくりを推進するTsunashima SST協議会にアドバイザー会員として参画し、国際学生寮開設に向けて協議を進めてまいります。慶應義塾大学としては、まちづくりと一体となった学生寮の整備は初めての試みであり、Tsunashima SSTのまちづくり構想にもとづく意匠・設計を備えた学生寮の実現を目指します。

外国人留学生と日本人学生が共に暮らし、互いに教え合い学び合いながら、日常的に国際感覚や多様性を育む慶應義塾大学専用の混住型国際学生寮として、2018年3月に開設することを目指しています。

さまざまな交流を促すための空間設計や、まち全体と連携したセキュリティシステム、環境・エネルギーに配慮した設備やシステムの導入などにより、安全・安心を確保しながら快適な生活空間を提供します。

学生寮の建物建築はパナホーム株式会社が、建物所有は株式会社サンオータスが、管理運営は株式会社共立メンテナンスが担います。複数の事業者のもつ製品やサービスを活用し、新たな国際学生寮開設に向けて、検討をすすめてまいります。

（参考）Tsunashima SST Web サイト <http://tsunashimasst.com/JP/>



以上

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部等に送信させていただいております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（竹内） TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-koho@adst.keio.ac.jp <http://www.keio.ac.jp/>